

架け橋なかよしプロジェクト

～幼保小の連携を通した
子どもの育ちと学びをつなぐ取組～



本日の内容

1. 私たちの目指す教育

2. 本年度の取組

- ①思いを込めたネーミング作成
- ②保育参観・合同研修会の実施
- ③めざす子ども像についての話し合い
- ④1年生と年長児の「あきのおもちゃ交流会」
- ⑤「架け橋期のカリキュラム」作成に向けて

3. 本年度の成果

1. 私たちのめざす教育：美保南小学校区の連携

→美保南小学校、鳥取第四幼稚園、のぞみ保育園

美保南小学校

学校教育目標

やさしさを磨こう

めざす子ども像

【自ら学ぶ(自学)】

【やさしさを持つ(福祉)】

【たくましく生きる(剛健)】



意欲を持って学習に取り組む子ども
自分、友達を大切にし、自分のやさしさを磨く
子ども

めあてを持って、最後まで「やり切る」子ども

鳥取第四幼稚園

教育目標

ゆたかで、やさしく、
たくましい子ども



めざす子ども像

- ①自ら目標をもって、たくましく活動する子ども
- ②友達の気持ちを思いやり、協力しあって遊べる子ども
- ③素直に感動する心をもち感動を創造性豊かに表現できる子ども
- ④豊かな生活経験の中から物事を知的に理解し判断できる子ども
- ⑤豊かな感性をもち「生きる力」を身につけた子ども

のぞみ保育園

保育目標

環境を通じて行う教育・保育を基本とし、生活や遊びを通じて生きる力を育成するよう努め、学びの基礎を培う。

めざす子ども像

- ・ 基本的生活習慣を身につけ、健康で安全な生活を送る子ども
- ・ 感じたことや体験したことを自分なりに表現する心豊かな子ども
- ・ 様々な人とかかわる中で、相手の気持ちを思い、仲間を支え合う子ども



昨年度までの幼保小の連携

- ・1年生と年長児の交流会 「しゃぼんだまであそぼう」



1年生がコップをもつ。
年長児は、液をつけてふく。

↓
園でしていること、小学校
でしていることなど、お互い
のこと�이가分かっていないまま
交流をしていました。

保育参観など、職員の交流△

2. 本年度の取組

思いを込めた一つの名前から新しい連携を始める

① 思いを込めたネーミング作成

組織

人

教育

- ☆ 仲良くつながりたい！
- ☆ 親しみの持てる
ネーミングにしたい！

架け橋なかよしプロジェクト

②保育参観・合同研修会の実施

目的

園と小学校の教育のつながり

- ・お互いに知り合い、子どもたちのことを知る。
- ・年長担任、1年担任、管理職だけでなく全職員が取組を知る。

内容

7月22日（火）鳥取第四幼稚園

7月24日（木）のぞみ保育園

保育参観・合同研修会の実施

保育参観 鳥取第四幼稚園

『友達と一緒に遊ぼう！』



「このキーホルダー
ください！」
「100円です！」

「どうしたらうまく
転がるかな？」
「段ボール、ななめに
してみる？」

- ・好きな遊びを見つけ夢中で遊ぶ姿
- ・イメージを共有し、一緒に遊ぶ喜び

保育参観 のぞみ保育園

『わくわくみんなまつりを楽しもう！』



「同じ形を使うと、
たくさん積めるよ。」
「そ～っとね。」

「もぐらが出てきたら、
叩いていいよ。」
「急いでひっこめて。」

- ・自分の言葉で伝えようとする意欲
- ・思いが通じる心地よさや喜び

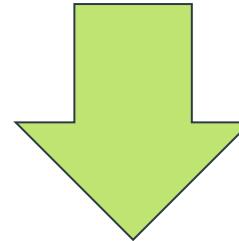
意見交換・合同研修会

相互理解の土台を築く：合同研修による視点の共有

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視点に、
子どもの姿や小学校につながる学びの姿を話し合う

子どもの姿を知ることで・・・

- ・小学校以降の学習や生活とのつながりを確認。
- ・お互いの保育・教育で工夫できることを考える。

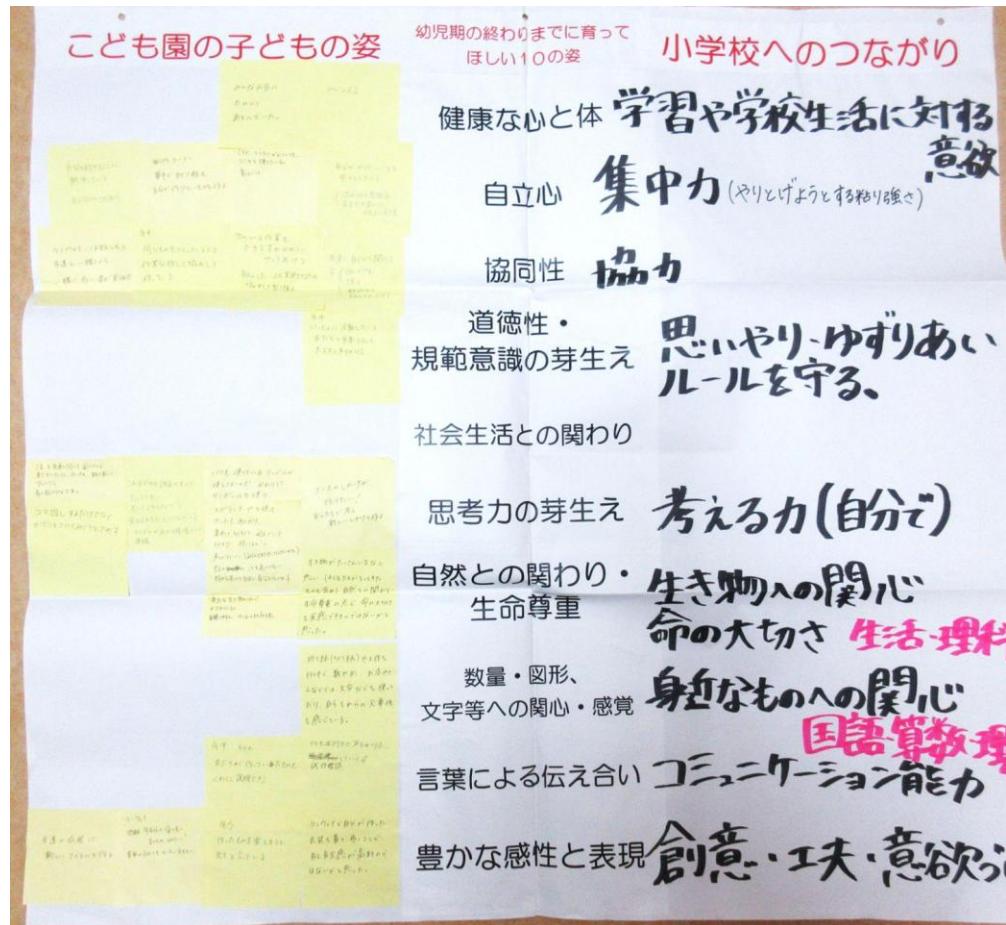


教育をつなぐ

園の子どもの姿

- ・やりたいことに夢中で取り組んでいる。
- ・友達に自分から関わる。(話しかける・誘う・相談する)
- ・自分達で考え、工夫する。
- ・遊びの中で数や形、文字などを使い、それらの必要性を感じている。

小学校の子どもの姿



- ・学習や学校生活へ意欲をもって取り組む。
- ・人と関わる。(協力する・相手を思いやる・譲り合う・ルールを守る)
- ・自分で考える。
- ・創意・工夫をする。
- ・様々な学習へつながっている。

保育参観・合同研修会を終えて・・・

(小学校)

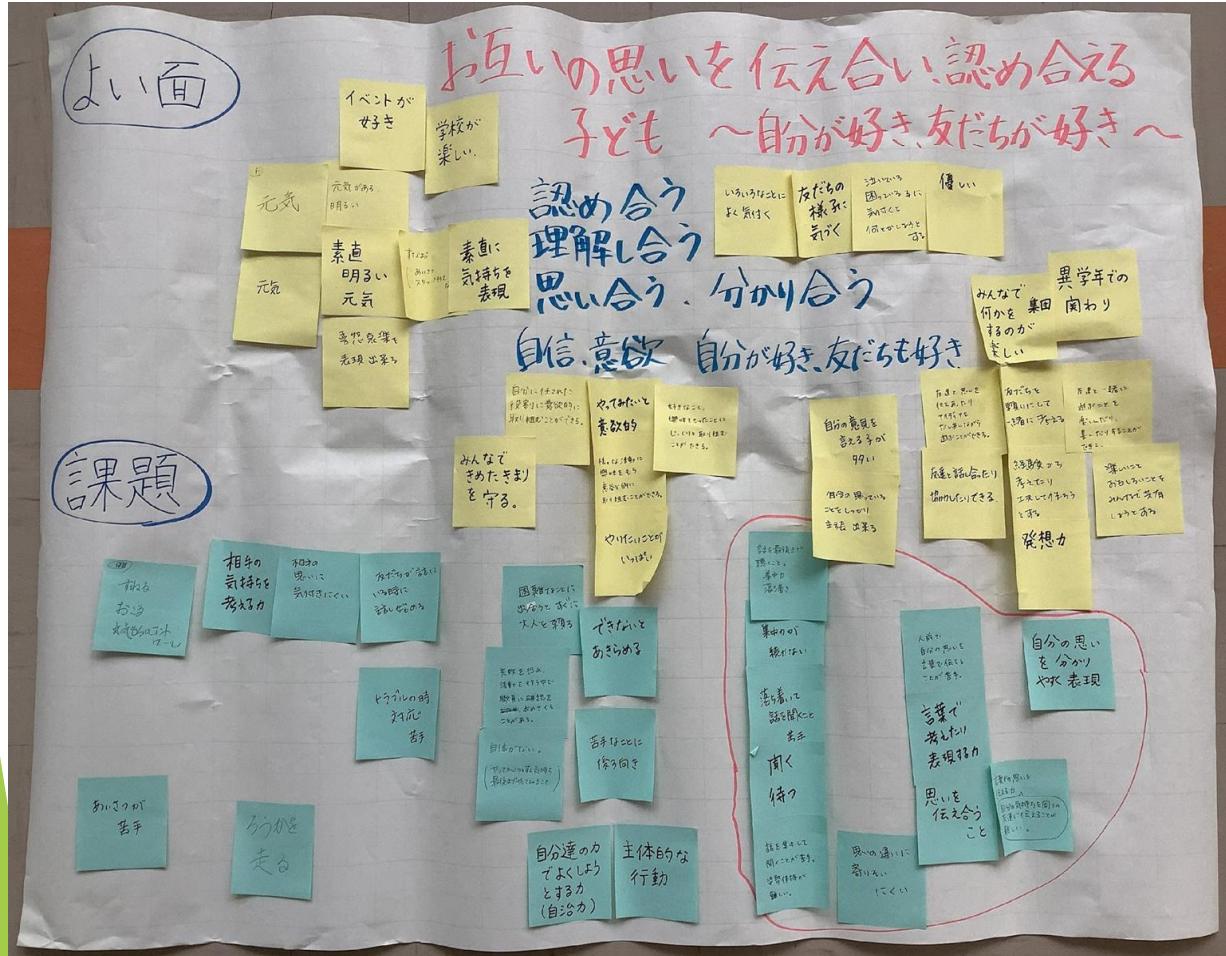
- ・子どもたちが主体的に遊びに向かい、のびのびと活動する姿が印象的だった。園での学びをどのようにして小学校につなぎ、生かしていくかをもっと考えていく必要がある。
- ・小学校で、子どもの主体性をより發揮させるためには、教師が指示を出しすぎないことが大切だと考えた。
- ・園では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を大切に保育に当たっている。就学前に大切なことや育ちを意識して、小学校の生活につなげていきたいと思った。

(園)

- ・園での子どもの姿を肯定的に認めていただき、園の取組を知っていただけて、嬉しかった。
- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」で話し合うことで、園で行っている保育が小学校にどのようにつながっているのかを確認することができてよかったです。

共通の目標設定：私たちが育てたい「子ども像」の具体化

③ 「めざす子ども像」についての話し合い



お互いの思いを伝え合い、 認め合える子ども

～自分が好き、友だちが好き～



計画から実践へ：共同で作成した「あきのおもちゃ交流会」指導案

④ 1年生と年長児の「あきのおもちゃ交流会」

☆合同指導案

1年担任、年長担任で
相談して作成。

お互いの日々の取組が
伝わるような活動を計画する。

めざす子ども像
↓
資質・能力

のぞみ保育園、第四幼稚園年長児と美保南小学校1年生との交流会 活動案 令和7年12月11日(木) 10:00~11:30 場所:美保南小学校																											
1.めざす子ども像 お互いの思いを伝え合い、認め合える子ども ~自分が好き、友だちが好き~																											
2.本日の活動 (1)本日のねらい																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年長児</th><th>1年生</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「どんぐりまつり」</td><td>生活科「たのしいあき いっぽい ～いっしょにあそぼう～」</td></tr> <tr> <td>◎1年生と関わりを持ち、自然物を使った様々な遊びを楽しむ。</td><td>◎年長児の気持ちを想像しながら作ったおもちゃで遊びなどを通じて、遊び方や関わり方を工夫し、一緒に活動を楽しむことができる。</td></tr> <tr> <td>◎自分の思いを伝えようしたり、言葉で相手の思いを聞いたりしながら一緒に遊ぶことを楽しむ。</td><td>◎友だちの考えを聞いたり、自分の思いを言葉で伝えたりすることができる。</td></tr> </tbody> </table>				年長児	1年生	「どんぐりまつり」	生活科「たのしいあき いっぽい ～いっしょにあそぼう～」	◎1年生と関わりを持ち、自然物を使った様々な遊びを楽しむ。	◎年長児の気持ちを想像しながら作ったおもちゃで遊びなどを通じて、遊び方や関わり方を工夫し、一緒に活動を楽しむことができる。	◎自分の思いを伝えようしたり、言葉で相手の思いを聞いたりしながら一緒に遊ぶことを楽しむ。	◎友だちの考えを聞いたり、自分の思いを言葉で伝えたりすることができる。																
年長児	1年生																										
「どんぐりまつり」	生活科「たのしいあき いっぽい ～いっしょにあそぼう～」																										
◎1年生と関わりを持ち、自然物を使った様々な遊びを楽しむ。	◎年長児の気持ちを想像しながら作ったおもちゃで遊びなどを通じて、遊び方や関わり方を工夫し、一緒に活動を楽しむことができる。																										
◎自分の思いを伝えようしたり、言葉で相手の思いを聞いたりしながら一緒に遊ぶことを楽しむ。	◎友だちの考えを聞いたり、自分の思いを言葉で伝えたりすることができる。																										
(2)本日の流れ																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>時間</th><th>保育園、幼稚園</th><th>活動の流れ</th><th>小学校</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10:00</td><td> <ul style="list-style-type: none"> 予想される園児の姿 保育者の援助 </td><td> <ul style="list-style-type: none"> ○体育館 はじめの会をする。 ・園の出入口を見て、一緒に楽しむ。 △「楽しみだね」「すごいね」「一緒にやってみよう」など、興味をもって一緒に楽しむことができるような声をかける。 △一緒に楽しんで盛り上げる。 </td><td> <ul style="list-style-type: none"> 児童の活動 指導者の支援 ○評価標準 </td></tr> <tr> <td>10:15</td><td> <ul style="list-style-type: none"> 落ち書きで話が聞けるように、振り方を見守ったり、声をかけたりする。 鳥取第四幼稚園は「青い空に絵をかこう」と披露する。 みんなと一緒に「エビカニクス」の体操を楽しむ。 自信をもって発表が出来るように、保育士が率先して楽しく元気に活動に参加し、盛り上げるようにしていく。 各教室に移動する。 ○教室の中で、安心して過ごせるように、子ども達の様子を見守りながら、必要に応じてサポートするようにしていく。 園で作成したおもちゃを紹介したり、遊び方を伝えたりしながら、一緒に遊ぶ。 のぞみ保育園さんは「どんぐり迷路」をプレゼンする。 ○おもちゃ紹介では、遊び方や工夫したことなどが伝えられるように、様子を見守りながら言葉を引き出していく。 ○小学生の関わりを見守りながら、一緒に遊ぶ。 ○年長児のおもちゃを見る中で、工夫しているところや、自分たちのおもちゃの相違点に気付くことができるようになる。 ○機械的に感情が伝えられるように声をかける。 小学生の話を説明聞く。 ○落ち書きで話が聞けるように、子ども達の様子を見守りながら、必要に応じて声かけを行う。 </td><td> <ul style="list-style-type: none"> ○各教室 のぞみ1クラス、第四2クラスの3クラスに分かれて活動する。 園のおもちゃ紹介をする。 -どんぐりめいいろ </td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめの会をする。 ・園の出入口を見て、一緒に楽しむ。 △「楽しみだね」「すごいね」「一緒にやってみよう」など、興味をもって一緒に楽しむことができるような声をかける。 △一緒に楽しんで盛り上げる。 </td></tr> <tr> <td>11:20</td><td></td><td></td><td> <ul style="list-style-type: none"> ○おわりの会をする。 -感想タイム -おわりのあいさつ </td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td> <ul style="list-style-type: none"> ○おわりの会をする。 手筋で楽しかったことや失敗など思ったことを伝えあい、年長児と一緒に活動を振り返す。 ○楽しかった気持ちを読み取り、感謝の気持ちをもらしながら活動を振り返られるように、子ども達の気持ちを引き出し、伝えられるようにする。 ○みんなの感情を聞きながら、思いに共感したり、一緒に活動した楽しさや満足感を味わったりできるようにする。 ○おわりの会をする。 ○次回の交流会や小学校になることに期待をもてるような声かけをする。 </td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td> <ul style="list-style-type: none"> ○教室内面下 みんなで見送りをする。 </td></tr> </tbody> </table>				時間	保育園、幼稚園	活動の流れ	小学校	10:00	<ul style="list-style-type: none"> 予想される園児の姿 保育者の援助 	<ul style="list-style-type: none"> ○体育館 はじめの会をする。 ・園の出入口を見て、一緒に楽しむ。 △「楽しみだね」「すごいね」「一緒にやってみよう」など、興味をもって一緒に楽しむことができるような声をかける。 △一緒に楽しんで盛り上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の活動 指導者の支援 ○評価標準 	10:15	<ul style="list-style-type: none"> 落ち書きで話が聞けるように、振り方を見守ったり、声をかけたりする。 鳥取第四幼稚園は「青い空に絵をかこう」と披露する。 みんなと一緒に「エビカニクス」の体操を楽しむ。 自信をもって発表が出来るように、保育士が率先して楽しく元気に活動に参加し、盛り上げるようにしていく。 各教室に移動する。 ○教室の中で、安心して過ごせるように、子ども達の様子を見守りながら、必要に応じてサポートするようにしていく。 園で作成したおもちゃを紹介したり、遊び方を伝えたりしながら、一緒に遊ぶ。 のぞみ保育園さんは「どんぐり迷路」をプレゼンする。 ○おもちゃ紹介では、遊び方や工夫したことなどが伝えられるように、様子を見守りながら言葉を引き出していく。 ○小学生の関わりを見守りながら、一緒に遊ぶ。 ○年長児のおもちゃを見る中で、工夫しているところや、自分たちのおもちゃの相違点に気付くことができるようになる。 ○機械的に感情が伝えられるように声をかける。 小学生の話を説明聞く。 ○落ち書きで話が聞けるように、子ども達の様子を見守りながら、必要に応じて声かけを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各教室 のぞみ1クラス、第四2クラスの3クラスに分かれて活動する。 園のおもちゃ紹介をする。 -どんぐりめいいろ 	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめの会をする。 ・園の出入口を見て、一緒に楽しむ。 △「楽しみだね」「すごいね」「一緒にやってみよう」など、興味をもって一緒に楽しむことができるような声をかける。 △一緒に楽しんで盛り上げる。 	11:20			<ul style="list-style-type: none"> ○おわりの会をする。 -感想タイム -おわりのあいさつ 				<ul style="list-style-type: none"> ○おわりの会をする。 手筋で楽しかったことや失敗など思ったことを伝えあい、年長児と一緒に活動を振り返す。 ○楽しかった気持ちを読み取り、感謝の気持ちをもらしながら活動を振り返られるように、子ども達の気持ちを引き出し、伝えられるようにする。 ○みんなの感情を聞きながら、思いに共感したり、一緒に活動した楽しさや満足感を味わったりできるようにする。 ○おわりの会をする。 ○次回の交流会や小学校になることに期待をもてるような声かけをする。 				<ul style="list-style-type: none"> ○教室内面下 みんなで見送りをする。
時間	保育園、幼稚園	活動の流れ	小学校																								
10:00	<ul style="list-style-type: none"> 予想される園児の姿 保育者の援助 	<ul style="list-style-type: none"> ○体育館 はじめの会をする。 ・園の出入口を見て、一緒に楽しむ。 △「楽しみだね」「すごいね」「一緒にやってみよう」など、興味をもって一緒に楽しむことができるような声をかける。 △一緒に楽しんで盛り上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の活動 指導者の支援 ○評価標準 																								
10:15	<ul style="list-style-type: none"> 落ち書きで話が聞けるように、振り方を見守ったり、声をかけたりする。 鳥取第四幼稚園は「青い空に絵をかこう」と披露する。 みんなと一緒に「エビカニクス」の体操を楽しむ。 自信をもって発表が出来るように、保育士が率先して楽しく元気に活動に参加し、盛り上げるようにしていく。 各教室に移動する。 ○教室の中で、安心して過ごせるように、子ども達の様子を見守りながら、必要に応じてサポートするようにしていく。 園で作成したおもちゃを紹介したり、遊び方を伝えたりしながら、一緒に遊ぶ。 のぞみ保育園さんは「どんぐり迷路」をプレゼンする。 ○おもちゃ紹介では、遊び方や工夫したことなどが伝えられるように、様子を見守りながら言葉を引き出していく。 ○小学生の関わりを見守りながら、一緒に遊ぶ。 ○年長児のおもちゃを見る中で、工夫しているところや、自分たちのおもちゃの相違点に気付くことができるようになる。 ○機械的に感情が伝えられるように声をかける。 小学生の話を説明聞く。 ○落ち書きで話が聞けるように、子ども達の様子を見守りながら、必要に応じて声かけを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各教室 のぞみ1クラス、第四2クラスの3クラスに分かれて活動する。 園のおもちゃ紹介をする。 -どんぐりめいいろ 	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめの会をする。 ・園の出入口を見て、一緒に楽しむ。 △「楽しみだね」「すごいね」「一緒にやってみよう」など、興味をもって一緒に楽しむことができるような声をかける。 △一緒に楽しんで盛り上げる。 																								
11:20			<ul style="list-style-type: none"> ○おわりの会をする。 -感想タイム -おわりのあいさつ 																								
			<ul style="list-style-type: none"> ○おわりの会をする。 手筋で楽しかったことや失敗など思ったことを伝えあい、年長児と一緒に活動を振り返す。 ○楽しかった気持ちを読み取り、感謝の気持ちをもらしながら活動を振り返られるように、子ども達の気持ちを引き出し、伝えられるようにする。 ○みんなの感情を聞きながら、思いに共感したり、一緒に活動した楽しさや満足感を味わったりできるようにする。 ○おわりの会をする。 ○次回の交流会や小学校になることに期待をもてるような声かけをする。 																								
			<ul style="list-style-type: none"> ○教室内面下 みんなで見送りをする。 																								
<p>○おもちゃを大切に扱えるように、子ども達の様子を見守りたりする。</p> <p>○小学生と一緒に活動する感じや楽しげを味わえるように、子ども達の開け放つ様子を見守りたり、保育教諭も一緒に遊びに参加し、盛り上げたりするようにしていく。</p> <p>○愛情を持っている子どもには、保育教諭が寄り添ったり、一緒に遊びに参加したりしながら楽しめるようにする。</p> <p>○年長児が作ったおもちゃの面白さや、興味などころに気づくことができるようには、子ども達の喜びに共感したり、引き出した手助けしていく。</p> <p>○安全面に十分留意しながら活動を進めようとする。</p> <p>○遊びの会に参加する。</p> <p>手筋で楽しかったことや失敗など思ったことを伝えあい、年長児と一緒に活動を振り返す。</p> <p>○楽しかった気持ちを読み取り、感謝の気持ちをもらしながら活動を振り返られるように、子ども達の気持ちを引き出し、伝えられるようにする。</p> <p>○みんなの感情を聞きながら、思いに共感したり、一緒に活動した楽しさや満足感を味わったりできるようにする。</p> <p>○おわりの会をする。</p> <p>○次回の交流会や小学校になることに期待をもてるような声かけをする。</p> <p>○見送りをする。</p> <p>○次回の交流会への期待をもてるような声かけをする。</p>																											

連携がもたらした変化①：主体的に学び合う 【小学校の子どもの姿】

- ・年長児に楽しんでもらうために、目的意識をもって活動できた。
(遊びの内容、材料、遊び方、声のかけ方)
- ・それぞれが作ったおもちゃを紹介することで、互いに良さを見つけたり、関心をもったりすることができた。



自信をもって発言したり、友達に優しく接しようと
したりする姿が見られるようになった。

少しずつ「めざす子ども像」に近づいている



連携がもたらした変化②：子どもに寄り添う 【先生の関わり】

(小学校)

- ・子どものできることが多いことに気付き、声のかけ方に気をつけたり、見守って任せたりすることが多くなった。
- ・子どもの思いをより丁寧に聞くようになった。
- ・作品に込められた子どもの思いに気付いた。

(園)

- ・発言力のある子どもの思いだけで進めるのではなく、一人ひとりの思いを丁寧に聞くようになった。
- ・子ども同士をつなぐ関わりを意識するようになった。

連携がもたらした変化③：主体的に学び合う 【園の子どもの姿】



- ・招待状をもらったり、遊びを再現しようとしたりする中で文字への興味・関心が高まった。
- ・共通の目的ができたことで、言葉を使って友達とやり取りをしようとする姿が多く見られるようになった。

成果を次年度へつなぐ

⑤ 「架け橋期のカリキュラム」作成へ向けて

季節ごとに分けて、カリキュラムを作成中。

(案1)生活科を中心として本年度取り組んだことを書く。

(案2)子どもの発達を捉えて書く。



今後、活用していくためには、どのような書き方がよいか、現在試行錯誤中。

3. 本年度の成果

- 小学校以降の学習や生活とのつながりを確認することができた。
- 交流を通した子ども同士のやりとりや興味がその後の園での遊びの広がりにもつながっていった。
- 共通のねらいをもった互恵性のある活動を展開させることができた。
- お互いの子どもたちの育ちを知ることで、子どもへの関わり方を見直すきっかけになった。

本年度の取組を土台に、より円滑で意味のある幼保小の連携を目指し、かけ橋期のカリキュラムを完成させ、実践を進めていく。